



Annual Report メタセコイア 2025

埼玉県立大学学生支援センター

Web サイト: トップページ - 埼玉県立大学について - センター組織 - 学生支援センター
<https://www.spu.ac.jp/about/facilities/tabid235.html>

目次

学生支援センターの役割	3
学生の身分に関すること	3
学生の福利厚生に関すること	3
学生相談に関すること	3
学生の就職及び進学に関すること	3
その他学生生活に関すること	3
2025 年度の実施事項	4
1. 学習支援および生活支援に関する取組	4
2. 就職支援に関する取組	6
3. 障害のある学生に対する支援に関する取組	7
4. 卒業生と交流・支援に関する取組	8
学生支援委員会活動	9
1. 学生支援委員会名簿	9
2. 学生支援委員会会議実績	10
3. ワーキンググループ活動実績	10
その他の活動	11
安否確認訓練	11
学生表彰	11
食堂使用の促進・キッチンカー誘致	11

学生支援センターの役割

学生支援センターでは、学生一人ひとりが充実した大学生活を送ることができるよう様々な支援を行っています。

学生の身分に関すること

学生担任と学生支援委員が連携し、身分異動に関する相談にあたっています。

学生の福利厚生に関すること

学生相談に関すること

高等教育修学支援新制度や各種奨学金等に関する情報提供や申請手続きなどの支援を行うほか、アパート情報やアルバイト情報などの学生生活に必要な情報を提供しています。また、学生が心身ともに健康な学生生活を送れるよう、学校保健計画に基づき、保健センターと連携したきめ細やかな対応を行っています。

学生の就職及び進学に関すること

本学では、看護師・理学療法士などの様々な専門職をはじめ、自治体や一般企業など、就職先が多岐に渡ります。また、職種によって就職活動の時期や採用試験の内容も異なるため、その特殊性に応じた就職・進学支援体制を整備しています。

その他学生生活に関すること

学生が安心・安全な学生生活を過ごすことができるよう、変化する社会環境を踏まえた情報提供や注意喚起などに取り組んでいます。また、近年は大規模な自然災害も少なくありません。学生の状況に応じた細やかな学生支援を実施できるよう定期的な安否確認訓練等も実施しています。

学生支援センターでは、数多くの相談窓口を開いています。学生の皆さんが、安心して学生生活を送ることができるよう教職員一丸となってサポートします。

2025 年度の取組事項

埼玉県立大学中期目標に基づき、学習支援および生活支援、就職支援、障害のある学生に対する支援、卒業生との交流・支援について、重点的な取組を実施した。

1. 学習支援および生活支援に関する取組

中期目標
学生の学習意欲を高め、安心・安全な学生生活が過ごせるよう、学習・健康・生活の相談を行うなど、学習支援や生活支援の体制の充実を図る。また、経済的に修学が困難な学生に対する適切な支援を図る。

1) 学年間交流の実施

学生同士の交流機会として、学科、専攻ごとに学年間交流を実施している。学生が、学習や生活、進路等に関する情報交換を行い、学習意欲の喚起や、安心・安全な学生生活を送れるよう支援することをねらいとしている。2025 年度の実績は以下の通りである。

★学年間交流の参加人数（のべ）

学科・専攻	人数				
	1 年	2 年	3 年	4 年	計
看護学科	130 人	175 人	152 人	22 人	479 人
理学療法学科	120 人	118 人	111 人	116 人	465 人
作業療法学科	104 人	91 人	74 人	154 人	423 人
社会福祉学専攻	104 人	83 人	100 人	65 人	352 人
福祉子ども学専攻	37 人	27 人	28 人	23 人	115 人
健康情報学専攻	52 人	66 人	63 人	85 人	266 人
検査技術科学専攻	31 人	27 人	40 人	44 人	142 人
口腔保健科学専攻	26 人	22 人	15 人	19 人	82 人
計	604 人	609 人	583 人	528 人	2,324 人

2) 学生担任による面談実施

学生担任は、定期面談として年 2 回（前期・後期各 1 回）、対面や遠隔を活用して面談を実施している。そのほか、学生の状況に応じて随時面談を実施している。

3) 学生相談機能の強化

学生相談機能の強化として、2023年4月より学生相談室の臨床心理士2名体制で相談業務にあたっている。2025年度の実績は以下の通りである。

★学生相談室利用件数（のべ）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	20	40	32	37	20	13	16	24	27	35	18	25	307

4) 学生団体の活動、自治会活動への助言

学生団体の活動が、安心して円滑に行われるよう、学生団体に向けた説明会（サークル説明会）を8月に開催した。2026年3月現在、部活動およびサークルは47団体で、各種大会やイベントなどで様々な活動をしている。学生支援センターでは、学生が自治会や大学祭等を自主的に企画・運営ができるよう状況に合わせた助言を行っている。

2025年度の学生団体の活動、自治会活動の主な実績は以下の通りである。

★部活動・サークル一覧 大学HP

<https://www.spu.ac.jp/life/activities/tabid349.html>



★主な自治会活動（イベント、実施日）一覧

	実施日	イベント	担当
2025年	4月2日（水） 4月5日（土）	新入生歓迎会	新入生歓迎会実行委員会
	10月25日（土） 10月26日（日）	清透祭	清透祭実行委員会
	11月8日（土） 11月9日（日）	スポーツフェスティバル	スポーツフェスティバル実行委員会
	2026年	3月13日（金）	卒業生を送る会

5) 経済的に修学が困難な学生に対する支援

国の高等教育の修学支援新制度（日本学生支援機構が支給する給付型奨学金、大学が行う入学料及び授業料減免の支援）を積極的に活用した支援を実施した。また、新たな支援情報や家計急変時の経済支援情報について迅速に対応した。そのほかの公共団体や病院等の民間団体の奨学金制度についても、随時情報提供を行った。2025年度の主な実績は以下の通りである。

★修学支援新制度等の活用実績

	第Ⅰ区分・多子世帯 （全額免除）	第Ⅱ区分 （2/3免除）	第Ⅲ区分 （1/3免除）	合計	減免額（円）
入学料	110	12	11	133	37,435,500
前期授業料	343	34	35	412	117,144,750
後期授業料	337	40	23	400	115,074,750

2. 就職支援に関する取組

中期目標

- ・ 学生が早い段階から将来への目的意識を明確に持ち、自己の将来設計を考えられるよう、就職や自立に向けたキャリア教育に積極的に取り組み、進路決定率（就職・進学）100%を目指す。
- ・ 県内医療・福祉・産業界等や卒業生との連携強化、県内就職先への学生の関心を高める取組の実施、就職に関する情報提供・相談体制の更なる充実を図り、令和9年度までに県内就職率60%を目指す。

1) キャリア形成支援

低学年向けのキャリアデザイン講座（全学科・専攻）を実施し、学生一人ひとりが早い段階から将来への目的意識を明確に持ち、自己の将来設計を幅広く考えられるようキャリア形成支援を行った。昨年度からキャリアデザインブックを発行し、講座において活用している。

★キャリアデザイン講座実績

学科・専攻	年次	日程	方法	参加者数
看護学科	1・2・3	4月3日、4月4日、 11月13日	対面	375名
理学療法学科	1・2	12月10日	対面	79名
作業療法学科	1・2	8月7日	対面	66名
社会福祉学専攻	1・2	11月11日	対面	82名
福祉子ども学専攻	1・2	6月6日、12月10日	対面	35名
健康情報学専攻	1・2	7月23日	対面	92名
臨床検査科学専攻	1・2	2月3日	対面	47名
口腔保健科学専攻	1・2	1月30日	対面	60名

★キャリアデザインブック WebClass 就職・進学関連情報のページ> 就職の手引き等

<https://swebclass.spu.ac.jp/webclass/login.php?id=a4ce23b88b3625aecebe0ce469d49b5d&page=1>

2) 就職支援と情報発信

就職支援をサポートするため、就職支援ナビ（キャリアス UC）の活用を周知している。また学生・就職担当やキャリアセンター、各学科・専攻で企画した各種の就職支援講座・イベントを多数開催した。2025年度の主な実績は以下の通りである。

★就職支援講座・イベント計画実績

キャリア相談（2,471回）、就職支援講座（92回）、看護学科バスツアー（県内2病院）

3) 県内就職の推進

県内で活躍する卒業生を招いた就職活動スタートガイダンス（全学科・専攻）や、県内施設を対象とした就職説明会等の開催、県内で活躍する専門職等を講師の招聘やその他の情報提供により、県

内の団体や仕事の魅力を学生に直接伝える機会を作った。また、指定校推薦採用選考枠等を活用し、県内就職を推進するよう努めた。

★県内施設就職説明会実績（17回）、県内専門職説明会（21回）、授業内における県内就職魅力発信（全学科専攻）、指定校推薦等合格者実績（21名※2025年4月1日採用）

3. 障害のある学生に対する支援に関する取組

中期目標

障害のある人々に入学の機会を広げるとともに、障害のある学生が必要な支援を受けながら、修学目的を達成するための支援体制を構築する。

1) 障害のある学生への合理的配慮の提供

「障害のある学生への支援ガイド」に基づき、障害のある学生に対して合理的配慮の提供を行った。また、障害のある学生に対し、学生担任教員、障害学生アドバイザー、保健センター、臨床心理士、事務局等が連携し、面談を行い、学生の支援を行った。

★2025年度新規申請...2件

2) 理解促進のための研修会の開催

障害のある学生支援についての理解を深めるため、全教職員を対象に2つの研修会を開催した。今年度はいずれの研修会も講義のほか、グループワークを実施し、意見交換を行った。

★開催概要

1. 学生対応スキル向上研修会

日時：2026年2月16日（月）10：40-12：10

講師：学生相談室臨床心理士（葦名みさお氏）

内容：①近年の学生の特徴からみえる課題 ②グループワーク

会場：南棟 102 実習室

受講者数：教職員 26名

2. 障害のある学生支援研修会

日時：2026年2月27日（金）13：00-14：30

内容：①学科・専攻からの事例発表：配慮が必要な学生の動向とその対応について

②グループワーク：学生対応における課題の共有・課題解決に向けての検討

会場：南棟 205・206 講義室

受講者数：教職員 25名

4. 卒業生と交流・支援に関する取組

中期目標
卒業生が保健・医療・福祉の現場で更に活躍するための教育支援やキャリア形成支援を行うとともに、同窓会活動の活性化を支援する。

1) ホームカミングデー、卒業生との交流会等の開催

同窓会と連携してホームカミングデーを開催、卒業生間、卒業生と教員との交流の促進を図った。

★ホームカミングデー開催実績

実施日	内容	参加人数（卒業生）
6月14日（土）	看護学科ホームカミングデー	15名
10月25日（土）	理学療法学科「卒業生交流会」	19名
10月26日（日）	看護学科（老年看護学領域）「卒業生交流会 ―看護職のキャリアアップについて考えよう―」	10名
	看護学科（母性看護学・助産学領域）「助産師交流&活動報告会」	10名
	社会福祉子ども学科「災害時に私たちができる支援を話し合おう」	16名
	教職課程ホームカミングデー	10名

★卒業生へのメッセージ動画 大学 HP

<https://www.spu.ac.jp/graduates/tabid638.html>

2) 同窓会運営の活性化

同窓会評議員や大学に在勤する卒業生教職員を通じて、同窓会における卒業生間のつながりを強化するとともに、同窓会事業の実施を支援した。

★同窓会活動実績

- ・同窓会活動の補助費交付
- ・SNS（Instagram・X・Facebook）投稿
- ・清透祭で模擬店出店
- ・県大グッズ企画・作成・販売

3) 卒業生現況調査の実施

卒業生現況調査を10月から実施した（回答率：21.6%）。

4) 既卒者向けの求人情報の周知等

卒業後にニーズに応じて就職支援を行うために、キャリア相談や既卒者向けの求人情報提供等、卒業生向けに行っている就職支援について周知した。

学生支援委員会活動

1. 学生支援委員会名簿

所属	職名	氏名	備考
学生支援センター長	教授	田口 孝行	委員長
保健センター長	教授	滑川 道人	継続
看護学科	准教授	山岸 直子	継続
理学療法学科	助教	中村 高仁	継続
作業療法学科	准教授	南雲 浩隆	継続
社会福祉子ども学科（社福）	准教授	岡 桃子	継続
社会福祉子ども学科（福子）	助教	五味 葉子	継続
健康開発学科（行動）	助教	松本 真欣	継続
健康開発学科（検査）	准教授	岡田 茂治	継続
健康開発学科（口腔）	准教授	秋山 恭子	継続
共通教育科	准教授	浦丸 直人	継続
大学院	准教授	須永 康代	継続
事務局	担当部長	富田 茂徳	学生・就職支援担当部長

○事務局

所属	職名	氏名	備考
学生・就職支援担当	担当課長	横田 萌々	
学生・就職支援担当	主任（就職）	佐々木 武	
学生・就職支援担当	主任（学生）	鈴木 章太	
学生・就職支援担当	主任（就職）	安岡 佐起	
学生・就職支援担当	主事（学生）	糸賀 和花	

2. 学生支援委員会会議実績

回	日時	回	日時
1	4月14日(月)4限	7	10月20日(月)4限
2	5月19日(月)4限	8	11月17日(月)4限
3	6月16日(月)4限	9	12月15日(月)4限
4	7月14日(月)4限	10	1月19日(月)4限
5	8月20日(水)4限	11	2月16日(月)4限
6	9月16日(火)4限	12	3月16日(月)4限

3. ワーキンググループ活動実績

学生支援委員会では、中期目標にそって立案した年度計画に基づき4つのワーキンググループに分けグループごとに活動を実施した。2025年度の活動実績は以下の通りである。

★ワーキンググループ活動実績

2025年度 ワーキンググループ		取組内容
学生支援	学修支援	1) 学年間交流 2) 学生団体の活動支援(座談会等の実施) 3) 担任教員面談の把握 4) 学生対応スキル向上研修会の企画・運営
	生活支援	1) 障害学生支援研修会の企画・運営 2) 安否確認訓練(実施基準の制定) 3) 自殺等危機対応マニュアルの活用周知
就職支援	県内就職の推進	1) 県内就職の魅力情報発信 2) 授業内の取組(取りまとめ) 3) 指定校推薦枠の活用
	同窓会・卒業生への支援	1) ホームカミングデーの開催 2) 同窓会活動の活性化

その他の活動

安否確認訓練

大規模な自然災害等に備え、学生の状況に応じた細やかな学生支援を実施できるよう定期的な安否確認訓練を実施している（2025年度は2025年5月12日（月）実施）

学生表彰

<https://www.spu.ac.jp/life/commendation/>

学術研究活動や社会活動・課外活動で賞を受けるなど、高い評価を受けた学生・団体、および最終成績が特に優秀であった学生に対して、毎年表彰をしている。2025年度学生表彰者は24名の学生・大学院生、及び3サークルに表彰を行った。

食堂使用の促進・キッチンカー誘致

昨年度に引き続き、学生より要望が多かったキッチンカーを誘致した。合わせて食堂使用促進のため、メニュー等の改善を行った。期間中の状況と学生、教職員のアンケート結果をもとに環境整備に関して検討していく。

○日時：2026年1月19日（月）～23日（金）、
26日（月）、28日（水）～30日（金） 各日11:00～15:00

○場所：連携と統合の丘前（雨天時は講堂前またはキャリアセンター前）